

充実！修学旅行

～関西方面3泊4日の旅～



令和6年12月23日

12月号

発行：宮古北高等学校



十二月十日(火)～十三日(金)の三泊四日で、二学年が関西方面に修学旅行に行ってきました。宮古と京の都の気温が然程変わらず多少寒かったですが、四日間とも天気恵まれ不自由なく旅行を楽しめました。これも二年生の皆さんの日頃の行いが良いからでしょう。

一日目は京都に着いてすぐ清水寺を参拝しました。人の多さにびっくりしながらも、早速お土産を買うなどして周辺を散策しました。二日目は班別自主研修でした。事前に自分たちで行き先を決め、徒歩や公共の交通機関を使って移動しました。多くの班が十七時までは、本物の歴史に触れる機会あり、はしゃぐ場面あり、友人と語り合う場面ありと充実した修学旅行でした。

最終日は大阪城周辺を散策してから、帰路に就きました。四日間とも生徒の皆さんは時間やルールをしっかり守り、終始立派な態度で修学旅行に臨んでくれました。この歴史に触れる機会あり、はしゃぐ場面あり、友人と語り合う場面ありと充実した修学旅行でした。

で旅館に戻り、ちょっと遅れた班も遅れそうな旨しつかり事前連絡してくれました。素晴らしいと思います。

三日目は薬師寺にて面白くも為になる法話を聴き、東大寺の大仏の大きさに圧倒され、奈良公園で鹿と戯れた後、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで思いっきり遊びました。

先輩と語る会

十二月二十日(金)、総合的な探究の時間を利用して「先輩と語る会」が開催されました。進路目標を達成した三年生の経験を直接聞くことによって、一・二年生一人ひとりの進路意識の高揚を図ることを目的に毎年開催しています。

三年生は、一・二年生の進路についてどう考えていたかや、三年生になって進路に対する意識はどう変化したか等を自分なりにまとめ、先輩たちに伝えてくれました。

小成彦禮さんは「声のトーンをできるだけ大きく、伝わりやすいように心がけた。スライドの切り替えをゆっくりにして、しっかりと見てもらうことも心がけた。やりたいことが見つかったら全力で頑張ってほしい。」

八重樫健太さんは「先輩達に安心感を持ってもらおうように笑顔ややさしいように心がけた。できることは後回しにせず、今やりました」とそれぞれ後輩達にエールを送ってくれました。



宮北の森⑨～吹奏楽部活動発表～

12月20日(金)、今年度9回目の宮北の森が開催されました。今回は吹奏楽部による活動紹介と演奏でした。今年度参加した大会やイベント、そこで演奏した曲を紹介した後、Back numberの「水平線」を演奏してくれました。1月11日(土)にはウィンターコンサートが開かれます。皆さんで聴きにいきましょう！



がん教育講話

十二月四日(水)に三年生を対象に「がん教育講話」が開かれました。宮古病院の川村先生を講師に迎え、「今私たちにできることは、望ましい生活習慣を心がけ、がんになるリスクを減らすこと」「がんを早期に発見するためには検診が大切であること」等を学びました。



性教育講話

十二月十八日(水)に二年生を対象に「性教育講話」が開かれました。性の多様性や異性との関わり方、性感染症の予防について知識を深めました。「妊婦体験ジャケッ」を着用し、妊婦さんの大変さも体験しました。



薬物乱用防止教室

十二月十一日(水)一年生を対象に「薬物乱用防止教室」が開かれました。薬物の危険性を正しく理解するとともに、「きっぱり断る」「逃げる勇氣」など、正しい行動選択についても学びました。



お知らせ

学校ウェブページ、ノートのページへのアクセスがしやすくなるようQRコードを載せます。ノートのページでは主に行事での様子を写真中心にお伝えしていきます。ぜひアクセスしてください。

学校ウェブページ



ノートのページ



宮古北高校では、体験学習や探究活動を推進し、思考力・判断力の育成に努めており、また、職業理解を深めるフィールドワークや、地域での農業体験を行うなど、学校全体でキャリア教育に取り組んでいます。

学校規模としては大きくはありませんが、生徒が主体となり力を合わせて教育活動を展開しています。生徒のボランティア活動を充実させ、地域に貢献して参りますので、ご支援ご協力をお願い致します。

令和六年十二月二十三日
文責 宮古北高校副校長